

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公開番号】特開2009-148320(P2009-148320A)

【公開日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2009-027

【出願番号】特願2007-326541(P2007-326541)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月24日(2010.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持対象に対して開閉可能に支持された開閉体と、

当該開閉体の背面側又は後方に設けられ、外部電源から供給される電力に基づいて動作する電気機器と、

開閉体の開閉動作に基づいて変位する可動部と、

前記可動部の変位によって起電力を発生する起電力発生手段と、

前記起電力発生手段の起電力に基づき前記開閉体の開放を検知する開閉検知手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記起電力発生手段は、

磁束が変化することで電位差を生じるとともに、電気を伝導する導体と、

前記磁束に変化を与える磁性体と、

前記開閉体の開閉動作を契機として前記可動部を所定の方向に変位させる駆動機構とを備え、

前記駆動機構は、前記開閉体の開閉動作により発生する前記開閉体それ自体の動力とは異なる動力を発生し、

前記可動部の前記所定の方向への変位に伴って前記磁性体と前記導体との相対位置が変位し、前記起電力発生手段に起電力が生じることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記可動部は第1位置から第2位置へと移動可能に設定されており、前記可動部の前記第1位置から前記第2位置への移動に基づいて前記起電力発生手段に起電力が発生し、前記駆動機構は、前記可動部を前記第2位置に向けて付勢する付勢手段と、

前記可動部が前記開閉体の全開閉範囲のうち所定範囲にある状態において、前記開閉体の開閉動作に伴い前記付勢手段の付勢力に抗して前記第1位置に前記可動部を移動させるガイド部とを備え、

前記ガイド部による前記可動部の移動が終了した後、当該可動部は前記第1位置から前

記第2位置へ移動されることを特徴とする請求項2に記載の遊技機。

【請求項4】

支持対象と、

前記支持対象に対して開閉可能に支持された開閉体と、

当該開閉体の背面側又は後方に設けられ、外部電源から供給される電力に基づいて動作する電気機器と、

前記開閉体が前記支持対象に対する閉位置に配置される場合に、同開閉体を同支持対象に対して施錠する施錠装置と、

磁束が変化することで電位差を生じるとともに、電気を伝導する導体及び前記磁束に変化を与える磁性体を有し、前記施錠装置の動作に伴って前記磁性体及び前記導体の相対位置が変位することで起電力を発生する起電力発生手段と、

前記起電力発生手段の起電力に基づき前記開閉体の開放を検知する開閉検知手段とを備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項5】

前記施錠装置は、

前記支持対象及び前記開閉体のいずれか一方に固定された固定係止具と、

前記固定係止具に対する係止位置と係止解除位置との2つの異なる位置間にて移動が可能な状態で他方に装着され、前記固定係止具と係止されることで前記開閉体を前記支持対象に対して施錠状態とする可動係止具と、

前記可動係止具を、前記固定係止具と係止される側に向かって付勢する付勢手段とを備え

前記係止位置及び前記係止解除位置の両位置間における前記可動係止具の移動に伴って、前記磁性体と前記導体との相対位置が変位することを特徴とする請求項4に記載の遊技機。